

# 令和 8 年度 学習の手引き

教科名	理科	年次	1学年	使用 教材	改訂版 新編 生物基礎(数研出版)
科目名	生物基礎	必修			改訂版 新編 生物基礎 準拠 サポートノート (数研出版)
		単位	3		改訂版 新編 生物基礎 準拠 アクティブブック(数研出版)

## 科目の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、資料の読み取りを行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

## 学習方法

- 1 教科書の読解、問題演習等を通して目標の達成を目指します。
- 2 日常から家庭学習に取り組み、問題演習等に取り組みましょう。
- 3 ノートを用意する必要はありません。授業ではアクティブブックとサポートノートを用います。
- 4 情報を整理し、知識をつなげることが大切です。自分で考えて、説明できるようになりましょう。

## 評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点		評価の観点の趣旨
①	知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。
②	思考・判断・表現	生物や生物現象から問題を見だし、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
③	主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

## 評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備考
単元テスト	◎	○		単元の終了ごとに行います。
アクティブブックの記述内容	○	◎	○	
宿題提出			◎	
行動の観察			◎	

◎特に重視する点

## 評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
A B C	6	3
B B B	5	
B B C	4	2
A C C	3	
B C C	2	1
C C C	1	

# 内容のまとめりごとの評価規準

科目名: 生物基礎

評価の観点 内容のまとめり		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	生物の特徴	生物の特徴について、生物の共通性と多様性および遺伝子とその働きを理解している。	生物の特徴について、観察、資料の読み取りなどを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	生物の特徴に主体的に関わり、見通しをもった振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。
2	ヒトの体の調節	ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節および免疫を理解している。	ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現している。	ヒトの体の調節に主体的に関わり、見通しをもった振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。
3	生物の多様性と生態系	生物の多様性と生態系について、植生と遷移および生態系とその保全を理解している。また、生態系の保全の重要性について認識している。	生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。	生物の多様性と生態系に主体的に関わり、見通しをもった振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。
4				
5				
6				
7				
8				



## 単元の計画

教科名	理科	対象学年・生徒	1学年 必修	
科目名	生物基礎	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	3		アクティブブック	
単元名	生物の特徴		サポートノート	
内容のまとめ	(生物の特徴)			
単元の目標	知識・技能 生物の特徴について、生物の共通性と多様性、生物とエネルギーを理解すること。	思考・判断・表現 生物の特徴について、観察、資料の読み取りなどを通して探究し、生物の特徴における規則性や関係性を見出して表現すること。	主体的に学習に取り組む態度 生物の特徴に主体的に関わり、見通しをもった振り返りをするなど、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発見力</li> <li>・学ぶ力</li> <li>・思考力</li> <li>・判断力</li> <li>・表現力</li> <li>・コミュニケーション力</li> </ul>
単元の学習内容	<p>様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていること及び、生物の共通性と起源の共有を関連付けて学習する。</p> <p>生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であること及び、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて学習する。</p>			
単元の評価規準	知識・技能 生物の特徴について、生物の共通性と多様性、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解している。	思考・判断・表現 生物の特徴について、観察、資料の読み取りなどを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	主体的に学習に取り組む態度 生物の特徴に主体的に関わり、見通しをもった振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。	
主な評価方法	単元テスト	○	○	
	アクティブブックの記述内容		○	○
	宿題提出			○
	行動の観察			○
配当時間	20時間			
補足等				

## 単元の計画

教科名	理科	対象学年・生徒	1学年 必修	
科目名	生物基礎	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	3		アクティブブック	
単元名	遺伝子とそのはたらき		サポートノート	
内容のまとめ	(生物の特徴)			
単元の目標	知識・技能 遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNA、遺伝情報とタンパク質の合成を理解すること。	思考・判断・表現 遺伝子とそのはたらきについて、観察、資料の読み取りなどを通して探究し、生物の特徴における規則性や関係性を見出して表現すること。	主体的に学習に取り組む態度 遺伝子とそのはたらきに主体的に関わり、見通しをもった振り返りをするなど、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	・発見力 ・学ぶ力  ・思考力 ・判断力 ・表現力  ・コミュニケーション力
単元の学習内容	DNA の構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNA の特徴及び、塩基の相補性とDNA の複製を関連付けて学習する。			
	遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNA の塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を学習する。			
単元の評価規準	知識・技能 遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNA、遺伝情報とタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	思考・判断・表現 遺伝子とそのはたらきについて、資料の読み取りなどを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	主体的に学習に取り組む態度 遺伝子とそのはたらきに主体的に関わり、見通しをもった振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。	
主な評価方法	単元テスト	○	○	
	アクティブブックの記述内容		○	○
	宿題提出			○
	行動の観察			○
配当時間	20時間			
補足等				

## 単元の計画

教科名	理科	対象学年・生徒	1学年 必修		
科目名	生物基礎	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力	
単位数	3		アクティブブック		
単元名	ヒトの体内環境の維持		サポートノート		
内容のまとめ	(ヒトの体の調節)				
単元の目標	知識・技能 ヒトの体内環境の維持について、神経系と内分泌系による調節、体内環境の維持の仕組み、免疫の働きの本質的な概念や原理・法則などを理解すること。	思考・判断・表現 ヒトの体内環境の維持について、観察、資料の読み取りなどを通して探究し、生物の特徴における規則性や関係性を見出して表現すること。	主体的に学習に取り組む態度 ヒトの体内環境の維持に主体的に関わり、見通しをもった振り返りをするなど、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	・発見力 ・探究力  ・思考力 ・判断力 ・表現力  ・コミュニケーション力	
単元の学習内容	<p>体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを学習する。</p> <p>体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係及び、体内環境の維持を自律神経と関連付けて学習する。</p> <p>免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを学習する。</p>				
単元の評価規準	知識・技能 ヒトの体内環境の維持について、神経系と内分泌系による調節、体内環境の維持の仕組み、免疫の働きを理解している。	思考・判断・表現 ヒトの体内環境の維持について、資料の読み取りなどを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	主体的に学習に取り組む態度 ヒトの体内環境の維持に主体的に関わり、見通しをもった振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。		
主な評価方法	単元テスト	○	○		
	アクティブブックの記述内容		○	○	
	宿題提出			○	
	行動の観察			○	
配当時間	40時間				
補足等					

## 単元の計画

教科名	理科	対象学年・生徒	1学年 必修	
科目名	生物基礎	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力  ・発見力 ・探究力 ・グローバル力 ・表現力  ・コミュニケーション力
単位数	3		アクティブブック	
単元名	生物の多様性と生態系		サポートノート	
内容のまとめ	(生物の多様性と生態系)			
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	生物の多様性と生態系について、植生と遷移、生態系とその保全を理解すること。	生物の多様性と生態系について、観察、資料の読み取りなどを通して探究し、生物の特徴における規則性や関係性を見出して表現すること。	生物の多様性と生態系に主体的に関わり、見通しをもった振り返りをするなど、科学的に探究しようとする態度を養うこと。	
単元の学習内容	植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を学習する。また、植生の遷移をバイオームと関連付けて学習する。			
	生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的かく乱を関連付けて学習する。また、生態系の保全の重要性を学習する。			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	生物の多様性と生態系について、植生と遷移、生態系とその保全の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	生物の多様性と生態系について、資料の読み取りなどを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	生物の多様性と生態系に主体的に関わり、見通しをもった振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。	
主な評価方法	単元テスト	○	○	
	アクティブブックの記述内容		○	○
	宿題提出			○
	行動の観察			○
配当時間	25時間			
補足等				